

受験 番号	*記入不要	フリガナ	
		氏名	

現住所	〒		
卒業見込	2026 年 3 月 卒業見込		
生年月日	20 年 月 日生	転入学等	20 年 月 中学校から転入・編入 〔該当を○で囲んでください〕

各 教 科 の 学 習 の 記 録												
必 修 教 科											選 択 教 科	
教 科	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保健体育	技術家庭	外国語(英語)	評定合計	学年	教 科(評価)
評 価	3 年次の評価 ☐ 3 学期制の 3 年 2 学期 ☐ 2 学期制の最新 ☐ 2 学期制の前期											()
	(注 3) 該当に☑チェックを入れてください。											()
	2 年											()
	1 年											()

出 欠 の 記 録						
	授業日数	出席停止 忌引の日数	出席すべき 日数	出席日数	欠席日数	欠席理由と日数の内訳 例：風邪(3 日)
3 年	(12 月末まで)					
2 年						
1 年						
3 年間の欠席合計						※日数の多少に関わらず、理由と日数の内訳を記入する

記載事項に相違ありません。上記生徒が以下①～③に該当することを確認し、貴校に推薦いたします。

①高等学院を第一志望とし、合格した場合は入学を確約できる者。

②中学校 3 年次第 2 学期の学期成績が、9 教科合計（5 段階評価）で 40 以上の者。
ただし、2 期制の学校は、最新の成績（これがない場合に限り 3 年前期成績）とする。

③3 年間の欠席合計が 30 日以内の者。

20 年 月 日

学校名

学 校 〒
所在地

学校長名

電 話
F A X

校長
公印

学校側で本調査書を作成する際には、別紙「調査書の作成上の注意・記入例」を必ず参照ください。

記載者職名 _____

氏名 _____ (印)

メールアドレス(任意) _____

受験 番号	*記入不要	フリガナ	
		氏名	
総合的な学習の時間の記録	学 習 活 動 の 内 容 と そ の 観 点 ・ 評 価		
	(3 年)		
	(2 年)		
	(1 年)		
健 康 の 記 録			
健康上の特記事項 [ない場合は、「特記事項なし」と記入]			
総合 所 見			
20 年 月 日			
学 校 名		学 校 長 名	校長 公印
学 校 〒		電 話	
所 在 地		F A X	

学校側で本調査書を作成する際には、別紙「調査書の作成上の注意・記入例」を必ず参照ください。

記載者職名 _____

氏名 _____ (印)

調査書の作成上の注意・記入例・出願資格

以下1～8の「作成上の注意」および「記入例」「出願資格」を参照し、12月の貴校年内授業終了日以降に本調査書を作成してください。

1. 全般

- (1) 調査書の記載にあたっては、指導要録の内容に従って記入してください。
- (2) 高等学院 WEB サイト (<https://www.waseda.jp/school/shs/prospective/application/>) に公開のファイルへのデータ入力後の印刷、手書きのどちらでも構いません（コピー不可）。
- (3) 学年別記入欄は、上から順に、3年、2年、1年の降順になりますので、注意してください。
- (4) 年表記は、全て「西暦」で記入してください。

生年	2010 年	2011 年
卒業年	2026 年	

- (5) 未記入欄（該当事項がない欄）には、必ず斜線（／）を引いてください。データ入力の場合、未記入欄が塗りつぶされていることを確認してください。
- (6) 手書きの場合、もしくは印刷後に字句等を訂正するときは、二重線を引き、学校長公印を用いて訂正印を押しその旨を明記してください。
※志願者本人、学校長や担任教員の個人印による訂正および修正液や砂消等による訂正は不可となりますので、注意してください。

2. 氏名欄

戸籍に記載されている氏名を記入してください。

3. 現住所欄

学校側で志願者本人に「現住所」を必ず確認の上、正しく記入してください。

4. 各教科の学習の記録欄

- (1) 各教科の評定は、5段階評価で記入してください（選択教科は中学校の評価方法での記入可）。
※海外現地校等からの転入等の理由により、評価欄に未記入が生じる場合、必ず斜線（／）を引いてください。
- (2) 3年次の評価は、**2学期の学期成績**を記入してください。2期制の学校の場合は、最新の成績（これがない場合に限り3年前期成績）を記入し、**該当する区分（2学期・最新・前期のいずれか）**を選択してください。
※3年次の1・2学期を通した成績ではありません。
- (3) 1・2年次の評価は、指導要録に記載された成績を記入してください。
- (4) 評定合計欄には各年次の評定合計を記入してください。3年生の評定合計は40以上であることが必要です。

5. 出欠の記録欄

- (1) 3年次は、12月末までの欠席日数および欠席理由と日数の内訳（例：けがによる通院（1日）、発熱（1日））を記入してください。
- (2) 1・2年次は、指導要録に記載された欠席日数および欠席理由と日数の内訳（例：風邪（3日））を記入してください。
※学年途中で国内中学校・海外日本人学校から転入してきた方については、該当学年の欠席日数等に前籍校の情報も必ず加えてください。
- (3) 1～3年次の欠席日数の合計を3年間の欠席合計欄に記入してください。3年間の欠席合計が30日以内であることが必要です。
- (4) 臨時休校や分散登校等の記入は不要ですが、記入された場合でも特定の受験者が不利益を被ることはありません。

自己推薦入試出願資格

以下①～⑤のすべての要件を満たしている者

- ① 高等学院を第一志望とし、合格した場合は入学を確約できる者。
- ② 2010年4月2日以降、2011年4月1日までに出生した者。
- ③ 以下のいずれかに該当する者。
 - a. 日本国内の中学校または中等教育学校の前期課程を2026年3月に卒業（修了）見込みの者。
 - b. 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2026年3月に卒業（修了）見込みの者。
- ④ 中学校3年次第2学期の学期成績が、9教科合計（5段階評価）で40以上の者。
ただし、2期制の学校で3年次第2学期の成績がない場合は、最新の成績（これがない場合に限り3年前期成績）とする。
- ⑤ 3年間の欠席合計が30日以内の者。ただし、30日を超えても正当な事由（事故・入院等に限る）のある場合は、出願資格を認めることもあるので、事前に高等学院に問い合わせること。

(1)ー1 調査書の記入例

該当に☒チェックを入れてください。

未記入欄には、必ず斜線（／）を引いてください。

受験番号	*記入不要		フリガナ	ワ	セ	ダ	ロ	ウ
			氏名	早	稲	太	郎	
現住所	〒177-0044 東京都練馬区上石神井 2-X-X-〇〇							
卒業見込	2026 年 3 月 卒業見込							
生年月日	20 / 0 年 8 月 23 日生	転入学等	20 年 月	中学校から転入・編入 （該当を○で囲んでください）				
各教科の学習の記録								
必修教科								
教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	外国語
3年次の評価	5	5	5	5	4	5	5	4
2学期の成績	5	5	5	5	4	5	5	4
2学期の成績	5	5	5	5	4	5	5	4
評定合計	42							
学年	2 年	5	5	5	5	4	4	4
教 科 (評定)	43							
1 年	5	5	5	5	5	5	4	4
出欠の記録	3年間の欠席合計 5							
授業日数	出席停止 日数	出席すべき 日数	出席日数	欠席日数	欠席理由と日数の内訳 例：風邪（3日）			
3年				2	けがによる通院（1日）、発熱（1日）			
2年				0				
1年				3	風邪（3日）			
3年間の欠席合計					※日数の多少に関わらず、理由と日数の内訳を記入する			
記載事項に相違ありません。上記生徒が以下①～⑤に該当することを確認し、貴校に推薦いたします。								
① 高等学院を第一志望とし、合格した場合は入学を確約できる者。								
② 中学校3年次第2学期の学期成績が、9教科合計（5段階評価）で40以上の者。 ただし、2期制の学校は、最新の成績（これがない場合に限り3年前期成績）とする。								
③ 3年間の欠席合計が30日以内の者。								
20 26 年 / 月 9 日								
学校名	練馬区立大隈中学校			学校長名	大隈 太郎			
学 校 号	〒177-〇〇××			電 話	03-5911-XXXX			
所在地	東京都練馬区下石神井 1-X-△			F A X	03-3928-XXXX			
学校側で本調査書を作成する際には、別紙「調査書の作成上の注意・記入例・出願資格」を必ず参照してください。								
記載者職名				教諭				
氏名				学院 花子				
メールアドレス（任意）				XXXX@XXXX.XX.XX				

〈次ページに続く〉

6. 健康上の特記事項欄

健康上の特記事項がある場合には、必ず記入してください。

※障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合には、出願に先立ち、志願者本人より高等学院にお問い合わせいただくようご指導ください。

7. 学校証明欄

記載された出願資格を確認のうえ、**学校名、学校長名、所在地、電話 / FAX、記載者職名・氏名、証明年月日（以上 6 事項）**を必ず記入した上で、「学校長公印」と「記載者印」（2つの印）を各所定位置に押印してください。

※記入・押印漏れや誤りがある場合には再度ご提出いただくことになります。

※メールアドレスは、調査書の記載内容について不明点等がある場合に使用させていただくことがあります。

ただし、ご記入は必須ではありませんので、適切なメールアドレスをお持ちでない場合等は、「なし」とご記入ください。

※自己推薦入試のため、高等学院を第一志望とし、合格した場合に入学することを志願者本人に確認したうえで、作成いただきますようお願いいたします。

8. 厳封、封筒の記入例

調査書・活動記録報告書を合わせて三つ折りにして、長形 3 号の封筒（中学校名入り・縦向き、横向きいずれも可）に厳封し、必ず封緘印を押印してください。

封筒の宛名は下例のようにご記入ください（縦書き、横書きいずれも可）。

例) 早稲田大学高等学院長行
自己推薦入試用
〇〇〇〇君 調査書・活動記録報告書在中（親展）
中学校名
中学校住所
中学校電話

(1)ー2 調査書の記入例

受験番号	*記入不要	フリガナ	ワ セ ダ タ ロ ウ
		氏名	早稲田 太郎
総合的な学習の時間の記録	学習活動の内容とその観点・評価		
	(3年) 長崎研修では、学習計画や見学コースをしっかりと立てて研修に臨み、研修後には、成果をグループでまとめ新聞形式で発表することができた。		
	(2年) 日本の仏教文化を学ぶ京都研修では、自らインターネットを利用し情報を集め、現物との比較をわかりやすくレポートにまとめ発表することができた。		
	(1年) 職業調査研究では「弁護士」について調べ、職業の種類や働くことの意義、社会の中での役割を学んだ。		
健康上の特記事項 (ない場合は、「特記事項なし」と記入)			
特記事項なし			
総合所見	学習に対する意欲が非常に高く、どの教科の授業においても積極的に集中して取り組んでいる。自ら学習課題を見つけ、解決方法を探し、グループにおいてはリーダーとなり、グループ内の意見を集約するだけでなく、自分の意思を明確に伝えながら協力して課題を解決している。		
20 26 年 / 月 9 日			
学校名 練馬区立大隈中学校		学校長名 大隈 太郎	
学 校 〒 77-〇〇××		電 話 03-5911-××××	
所在地 東京都練馬区下石神井 1-×-△		F A X 03-3928-××××	

学校側で本調査書を作成する際には、別紙調査書の作成上の注意・記入例・出願資格を必ず参照ください。

記載者職名 教諭
氏名 学院 花子
XXXX@XXXX.XX.XX

封筒の記入例

早稲田大学高等学院長行 自己推薦入試用 〇〇〇〇君 調査書 活動記録報告書 在中 親展		緘
中学校名	練馬区立小野中学校	
中学校住所	東京都練馬区下石神井 1-×-△ (電話) 03-5991-××××	

(表)

(裏)

調査書作成にあたっての問い合わせ先 月～金 9:00～16:30

早稲田大学高等学院 入試担当 Tel 03-5991-4210 Fax 03-3928-4110 メール gakuin-nyushi@list.waseda.jp
お問い合わせ <https://www.waseda.jp/school/shs/contact/>